

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)  
 施策名 生涯学習の推進

施策コード 5020301

1. 施策の担当	
主管課	教育部 生涯学習課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第3節 生涯学習・スポーツ
	施策	生涯学習の推進	

**基本方針**  
 ・市民一人ひとりが、個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた充実した生活を送るために、「いつでも」「どこでも」「だれでも」が、生涯学習に親しむことができる環境整備を進めます。

**現況と課題**  
 ・市民の自主的な生涯学習の場として、生涯学習センター及び各公民館では多種多様なクラブ活動や講座を開催してきましたが、さらに利用しやすい施設運営が求められています。  
 ・図書館は、市民の教養、調査研究、レクリエーション活動等に必要な資料を収集及び蓄積し、求められた資料や情報を誰にでも公平に利用する機会を提供する役割を担ってきましたが、今後、ますます多様化、高度化するニーズに対して、適切に対応していくことが求められています。

**施策目標**  
 対象 (誰を、何を、どこを)

市民

**意図 (どのような状態にしたいのか)**  
 市民が文化活動を通じて自己実現を図っている。市民が読書などで、知的欲求を満たしている。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度 (偏差値)	54.2						
重要度 (偏差値)	47.2						

4. 施策にかかるコスト							
	単位	R4決算	R5決算				
コストの内訳	人件費	千円	30,776	35,794			
	事業費		180,035	183,128			
	フルコスト		210,811	218,922			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0			
	府支出金		0	0			
	市債		0	0			
	その他		20,503	22,547			
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		190,308	196,375			
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	159,532	160,581					

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、北部公民館、および日根野公民館の合計年間利用者数 (延べ数)							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	151,021.0	155,446.0	160,000.0	164,500.0	166,000.0	167,400.0	168,700.0
実績値	104,815.0	137,015.0	154,490.0				
達成度	69.4	88.14	96.56				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
主催講座への参加者数、自主サークルグループなどの貸館での利用者数等を合計して年間の利用者総数を算出。利用者総数を把握することにより、市民の学術・文化及び教養の向上、健康社会福祉の増進、さらには生涯学習の広がりをはかるメルクマールとします。		平成29年度の実績値から起算した毎年3%前後増加を目標として設定した結果の値		令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施しつつも、講座数の増や飲食を伴う講座の実施等により利用者数が増加した。今後も利用者の安全・安心を心がけ、施設の感染予防対策を徹底しながら、生涯学習に親しむことができるよう努めていきたい。			

② KPI 2		各図書館施設における人口1人当たりの個人年間貸出冊数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	4.4	4.7	5.0	5.1	5.2	5.3	5.5
実績値	3.26	4.02	4.16				
達成度	74.09	85.53	83.2				

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この数値の把握により、地域の情報拠点として、市民への資料・情報の提供が進んでいるか、市民が読書などで知的欲求を満たしているのかの指標となります。		平成29年度の実績値から起算した毎年7.4%増加を目標として設定した結果の値		令和5年度は通年開館となったこと、令和3年度からサービス開始した電子図書館の利用が徐々に認知され、利用が増えていること、令和4年度に車両を更新した移動図書館の利用が増えていること、図書館フェアやブラレールイベント等、読書活動推進にかかるイベントの実施等、利用増につながる取り組みの実施等により、貸出冊数の増につながった。			

③ KPI 3		生涯学習センター及び各公民館の主催講座受講者の満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	95.0	94.4	95.2				
達成度	95.0	94.4	95.2				

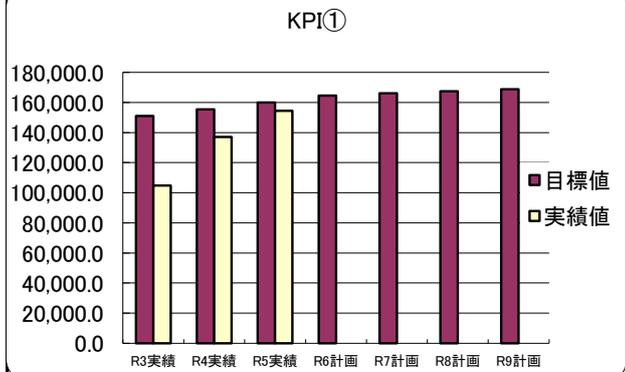
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
生涯学習センター、佐野公民館及び長南公民館の運営事業における主催講座開催時に参加受講者から「アンケート」を実施し、満足度につき5段階評価を行った。 利用者からの評価として、「5、大変良かった」「4、良かった」の評価をいただいたもののパーセンテージを算出した。		市民の多様な学習意欲、生きがいづくりに応えるため、「だれでも」がなんらかの部分で「良かった」と感じることでできる講座、そして快適な施設利用環境、適切な職員の対応をめざし、設定値とした。		おおむね高い満足度をいただき、前年度より微増となったが、目標値には到達しなかった。今後も市民ニーズを分析しながら現代的な課題、多様な内容の講座の企画を行い、満足度を上げるように努めたい。			

④ KPI 4		各図書館施設の来館者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	215,400.0	217,600.0	220,000.0	222,200.0	224,500.0	229,700.0	240,000.0
実績値	168,867.0	200,096.0	212,427.0				
達成度	78.4	91.96	96.56				

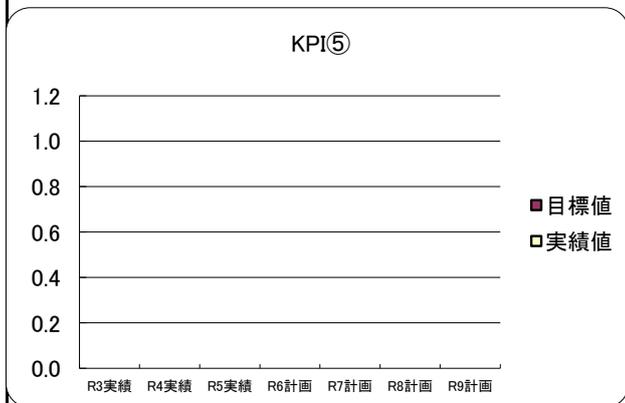
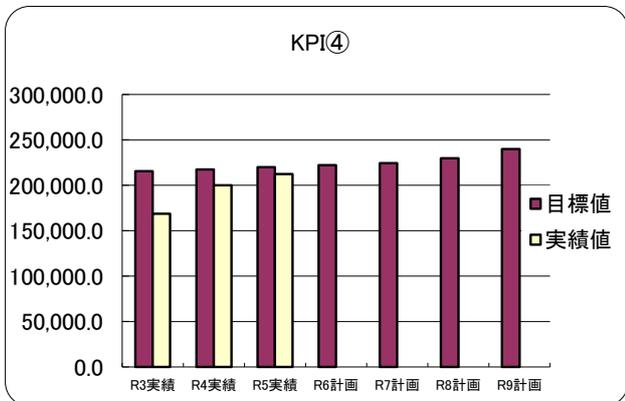
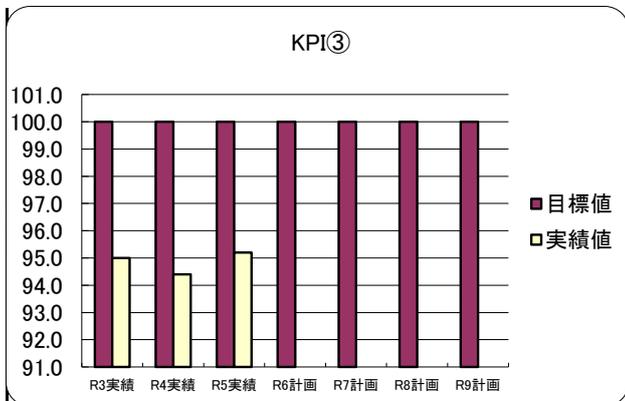
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
中央図書館および各公民館図書室に来館したのべ人数を合計して年間の来館者総数を算出。来館者総数を把握することにより、図書館資料の貸出だけでなく、館内で雑誌・新聞を読んだり、調べ物したり、図書館行事に参加するなど、市民の求める図書館機能の充実に努めます。		平成29年度の来館者数より毎年1%以上増加を目標として設定した結果の値		令和5年度は天候等の都合による臨時休館を除き、通常通り開館することができた。令和4年度に外壁工事のため臨時休館した佐野公民館図書室の開館日数が通常開館となったこと、図書館フェアやブラレールイベント等、読書活動推進にかかるイベントの実施により、来館者数の増となった。			

⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			



図表



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	文化活動の多様性が見られる現状において、それらの入口として書籍、生涯学習活動は一定の役割をはたしていると考えられる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	生涯学習センター・公民館は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、活動の制限を余儀なくされる状況において、市民の学習意欲や文化活動への要求の高さが窺われた。 図書館については、幅広い年齢層の利用およびきめ細かい対応が求められ、多様化・情報通信技術の進歩の中での新鮮な資料・情報、そして文化活動をさまざまな世代に広げるニーズが常にある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	生涯学習全般への市民の関心は高く、現状の維持および広報の充実の実施を図る。
	合計点	(10点中) <b>7点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	生涯学習に対しての市民のニーズは高く、市民の学習意欲を引き続き維持し、現況から周知拡大を実施する。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>B</b>	市民アンケートの結果では、前回から重要度3.2満足度0.3の微減となっているが、生涯学習にかかるトレンド対応などにも引き続き努められたい。
三次評価 (理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		<b>B</b>	

7. 施策を構成する事務事業

	事務事業		R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01058400	識字学級運営事業	797	1,516	1,516	0	B
2	01058500	社会教育団体支援事業	1,678	2,723	2,723	0	B
3	01058600	生涯学習推進事業	408	7	7	0	B
4	01058700	文化祭事業	6,460	1,165	1,165	0	B
5	01059300	生涯学習センター運営事業	20,738	12,348	1,590	0	B
6	01083225	図書館管理運営事業	5,713	165,369	153,580	0	B
合計			35,794	183,128	160,581	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020201010	予算コード	01058400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	識字学級運営事業	正規職員数	0.03	国庫支出金	0	有効性	B	今なお文字の読み書きに不自由している市民がいる現況の中、民間業者では行っていないため今後も事業を継続する	
担当課	生涯学習課	嘱託職員数	0.15	府支出金	0	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	C		
		歳出(千円)	797	その他	0	受益者負担	C		
		人件費総額	797	一般財源	2,313				
				減価償却費	0				
				事業費	1,516				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	2,313	緊急性			D	事務事業実施内容	
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)	23	公的関与			A	1 識字学級の開催(266回)	
対象	識字学級開講数	R5実績	266.0	実施主体・委託化			B	2 識字学級生作品展(9月と2月に開催)	
特定の市民	対象数			他の事務事業との関連			C	3 よみかきこうりゅうかいへの参加	
文字の読み書きに不自由している市民を対象とする。				透明性			B	4 識字担当者部会の出席と意見交換及び情報収集	
事業の内容		成果指標	R5実績	財政健全化計画			該当なし		
1 識字学級の開催		識字学級延べ受講者数	601.0	財政健全化の取組			該当なし		
2 識字推進の啓発活動及び識字学級生作品展の開催				改革改善プラン達成度			該当なし		
3 大阪府及び市町村並びに関係団体の識字学級担当者との意見交換や情報収集		コスト指標	R5実績						
		識字学級生1人にかかる経費(1回受講当り)	3,187.9						
事業の目的		識字推進活動及び作品展等にかかる経費	398.7						
識字施策を推進することにより、すべての市民が暮らしやすい社会を構築し、人権尊重のまちづくりを図っていくこと									

事務事業コード	020201030	予算コード	01058500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	社会教育団体支援事業	正規職員数	0.07	国庫支出金	0	有効性	B	泉佐野市の文化向上を進めるための団体育成事業のため継続を実施。	
担当課	生涯学習課	嘱託職員数	0.3	府支出金	0	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	B		
		歳出(千円)	1,678	その他	0	受益者負担	C		
		人件費総額	1,678	一般財源	4,401				
				減価償却費	0				
				事業費	2,723				
事務事業類型	団体育成事業(評価分)	フルコスト(千円)	4,401	緊急性			D	事務事業実施内容	
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)	44	公的関与			B	1 音楽団体の育成と支援	
対象	音楽団体活動回数	R5実績	123.0	実施主体・委託化			B	2 文化協会をはじめとする各種芸術文化団体活動への支援	
特定の団体	対象数			他の事務事業との関連			B		
芸術文化等の団体		泉佐野市文化協会活動回数	8.0	透明性			B		
事業の内容		成果指標	R5実績	財政健全化計画			該当なし		
1 音楽団体(少年少女合唱団と市民オーケストラ)の育成と支援		音楽団体活動延べ参加者数	2,901.0	財政健全化の取組			該当なし		
2 泉佐野市文化協会をはじめとする芸術文化団体の育成と支援		泉佐野市文化協会活動延べ参加者数	2,759.0	改革改善プラン達成度			該当なし		
		コスト指標	R5実績						
事業の目的		音楽団体活動参加者一人当たりの経費	883.7						
1 音楽団体をはじめとする芸術文化団体を育成し支援することにより、市民全体の文化の向上をはかる。		泉佐野市文化協会活動参加者一人当たりの経費	484.1						

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020201040	予算コード	01058600	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	生涯学習推進事業	正規職員数	0.05	国庫支出金	0	有効性	B	市の業務の普及系活のため、引き続き実施する。			
担当課	生涯学習課	嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性	B				
根拠法令等	市単独事業 ■要綱・要領 泉佐野市出前講座「かがやき」実施要綱	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	A				
		歳出(千円)		その他	0	受益者負担	A				
		人件費総額	408	一般財源	415	緊急性	D				
				減価償却費	0	公的関与	A				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	415	事業費	7	実施主体・委託化	A			事務事業実施内容	
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)	4			他の事務事業との関連	B				
対象	不特定の市民	活動指標	R5実績	出前講座「かがやき」メニュー数	35.0	透明性	C				
出前講座「かがやき」については、市内在住、在勤、在学する10人	対象数			出前講座「かがやき」実施数	22.0	財政健全化計画	該当なし				
事業の内容	1 出前講座「かがやき」の開催（市民に知ってほしい、また市民が知りたいと思う市の事業や施策について説明する講座） 2 生涯学習講座に関する情報の提供	成果指標	R5実績	出前講座「かがやき」参加者数	687.0	財政健全化の取組	該当なし				
事業の目的	1 出前講座「かがやき」を開催することで、市民の市政に関する理解を深め、意識啓発を図りもって生涯学習によるまちづくりを推進すること 2 生涯学習講座に関する情報を提供することにより、市民に様々な学習の機会を与え、学習の範囲を広げること	コスト指標	R5実績	出前講座「かがやき」参加者1人あたりの経費	604.1	改革改善プラン達成度	該当なし				

事務事業コード	020201050	予算コード	01058700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	文化祭事業	正規職員数	0.5	国庫支出金	0	有効性	B	市の文化向上に有効であるため継続する			
担当課	生涯学習課	嘱託職員数	0.5	府支出金	0	効率性	B				
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0.4	市債	0	妥当性	B				
		歳出(千円)		その他	0	受益者負担	D				
		人件費総額	6,460	一般財源	7,625	緊急性	C				
				減価償却費	0	公的関与	B				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	7,625	事業費	1,165	実施主体・委託化	B			事務事業実施内容	1 文化祭行事運営委員会（2回） 2 市民展（市主催事業）の実施 3 文化祭協賛事業（7団体）の実施
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)	77			他の事務事業との関連	B				
対象	不特定の市民	活動指標	R5実績	主催事業（市民展）出品者数	272.0	透明性	B				
事業の内容	1 市民展（市主催事業）を10月下旬から11月上旬にかけての約1週間、泉の森ホール（ギャラリー、マルチスペース、レセプションホール）で開催。8種目の作品の展示をしている。 2 文化祭の協賛行事として、9月から11月の約3ヶ月の間で、文化協会をはじめとする文化団体が泉の森ホール及び体育館において開催している。	成果指標	R5実績	主催事業（市民展）観客数	2,272.0	財政健全化計画	該当なし				
事業の目的	文化・芸能を継承発展させ、市民の文化的な生活の向上に寄与し得る活動を行っている個人及び団体が一堂に集い、日頃の活動の成果を広く市民に周知し、併せて市民全体の文化の向上に資することを目的とする。	コスト指標	R5実績	協賛事業観客数	3,434.0	財政健全化の取組	該当なし				
		主催事業（市民展）観客一人当たりの経費	3,041.5			改革改善プラン達成度	該当なし				
		協賛事業観客一人当たりの経費	208.9								

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード		020201100		予算コード		01059300		従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		評価点		一次評価					
事務事業名	生涯学習センター運営事業		正規職員数	1.3	国庫支出金	0	有効性					B		市民の生涯学習への意欲は高く、引き続き実施する。今後は費用対効果、サービスの向上が伴った指定管理者の企画事業を一部導入していく。							
担当課	生涯学習課		嘱託職員数	2.6	府支出金	0	効率性					B									
	市単独事業		臨時職員数	0.4	市債	0						A									
根拠法令等	泉佐野市立生涯学習センター条例、泉佐野市立生涯学習センター条例施行規則、生涯学習振興法		歳出(千円)		その他	10,758	妥当性					B									
			人件費総額	20,738	一般財源	22,328						A									
					減価償却費	0	受益者負担											B			
					事業費	12,348															
事務事業類型	運営事業		フルコスト(千円)	33,086	緊急性							D						事務事業実施内容			
実施手法	一部委託		市民1人当たりコスト(円)	334	公的関与							B						主権講座の実施。 縁JOY大学は、学習内容を企画、新型コロナウイルス感染予防対策として会場を泉の森ホール小ホールに変更して開催した。 親子で参加できる講座実施。 子育てサークルの支援。 絵てがみコンクールの実施。(将棋大会は中止)			
対象	活動指標		R5実績									B									
不特定の市民	対象数		主権講座回数	60.0	実施主体・委託化							B									
主権講座等受講者、クラブ等			登録クラブ数	93.0																	
事業の内容					他の事務事業との関連							B									
			成果指標	R5実績	透明性							B									
			主権講座受講者数	3,274.0	財政健全化計画							A									
			クラブ開催回数	2,896.0		財政健全化の取組							該当なし								
			主権講座受講者の満足度	95.2	改革改善プラン達成度								該当なし								
			コスト指標	R5実績										該当なし							
			主権講座受講者1人あたりの経費	3,585.5																	
事業の目的			「集い・学び・創る」を生涯学習のキャッチフレーズに、住民の教養の向上、健康の増進、情操の育成、生活文化の振興、社会福祉の推進、社会的関心の高揚を図り、自主運営する学習団体の育成と支援を通して、市民全体の良好な人間関係の構築を目的とする。																		

事務事業コード		020201140		予算コード		01083225		従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		評価点		一次評価					
事務事業名	図書館管理運営事業		正規職員数	0.7	国庫支出金	0	有効性					B		平成28年度より指定管理者による図書館運営が開始され、令和3年度には2期目の指定管理による運営が始まった。新型コロナウイルス感染拡大による休館など利用への影響はあるが、電子図書館サービスを開始し休館中も利用いただき、市民の図書館利用に対する要望の大きさを強く感じられた。							
担当課	生涯学習課		嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性					該当なし									
	市単独事業		臨時職員数	0	市債	0															
根拠法令等	■条例・規則 泉佐野市立図書館条例、泉佐野市立図書館条例施行規則		歳出(千円)		その他	11,789	妥当性					A									
			人件費総額	5,713	一般財源	159,293						B									
					減価償却費	0	受益者負担														
					事業費	165,369															
事務事業類型	運営事業		フルコスト(千円)	171,082	緊急性							D						事務事業実施内容			
実施手法	全部委託		市民1人当たりコスト(円)	1,727	公的関与							C									
対象	活動指標		R5実績									C									
不特定の市民	対象数		映画開催回数	21.0	実施主体・委託化							C									
泉佐野市在住・在勤・在学者、および近隣住民			おはなし会開催回数	54.0																	
事業の内容			移動図書館のべ巡回箇所	422.0	他の事務事業との関連							A									
			移動図書館巡回日数	165.0	透明性							B									
			成果指標	R5実績		透明性							B								
			延べ貸出者数	83,074.0	財政健全化計画							B									
			個人貸出冊数	412,801.0		財政健全化の取組							該当なし								
			映画会参加者数	706.0	改革改善プラン達成度								該当なし								
			おはなし会参加者数	906.0		コスト指標							該当なし								
			貸出人数1人あたりの経費	1,750.5																	
事業の目的			中央図書館・移動図書館・公民館図書室の各図書館施設が、市内全域において組織的にサービスを充実し、貸出の拡大を図る。また、映画会・おはなし会などの事業の開催により図書館利用の増大を図るとともに、学習意欲の向上と情報の発信地としての役割を担うことを目的とする。																		